

JCI 

挑め  
～輝くおさなめ紡ぎ手として～

9月号  
AKITA  
JC



JCI AKITA 70th

NEWS

2022 authorized 32nd



2022年度 AKITA JCNEWS

## ◆ 9月臨時総会を終えて

総務広報委員会 委員／佐々木 毅

9月15日（木）ANAクラウンプラザホテル秋田にて、一般社団法人秋田青年会議所9月臨時総会を開催致しました。当日は、2022年度の補正予算並びに、2023年度理事長候補者および理事候補者、監事候補者の選任について審議が執り行われました。

補正予算については、今後実施される事業を適正な予算のもと行うために、予算の状況を確認し組みなおしを行いました。今年度も残りの期間は少なくなって参りましたが、決められた予算の中でより良いJC活動・運動を行って参ります。

また、人事案件については、2023年度に秋田青年会議所が新体制のもとJC活動・運動を行うための基盤を構築し、2023年度につなげる場とすることができました。来年度もメンバーが一丸となりJC活動・運動に邁進して参りたいと思います。



## ◆ 9月例会を終えて

青少年育成委員会 運営幹事／小出 一馬

9月26日（月）にぎわい交流館AUにて、9月例会「親世代として改めて学ぶメディアリテラシー」を開催致しました。9月例会では、親世代である青年会議所メンバーがメディアからもたらされる情報の特性を理解し、様々な角度から吟味し、論理的かつ柔軟に思考する力をグループワーク形式で学びました。

グループワークは、情報を受信・発信する際それぞれの具体的な場面設定がなされた例題を用いて行いました。一つはメンバー間で共通の資料について読み解き、意見交換してもらう内容のものと、もう一つはバラバラの情報がカードとして各々に配られ、自分の情報を主体的に発信していかなければクリアできない内容のものです。

普段あまり話す機会のないメンバー間であっても、多くの発言が飛び交い、活発な意見交換がなされました。

グループワークは、メディアからもたらされる情報を正しく受信するための「4つの疑問」と、正しく発信するための「4つの自問」について、ポイントを効果的に学べるような内容でした。本例会では、普段何気なく接しているメディアの情報について事実なのか意見なのか分類することの必要性や、発信する際に相手の立場で考える重要性など多くの学びがありました。

結びになりますが、今回ご参加頂いた皆様におかれましては心より感謝申し上げます。



## ◆東北青年フォーラムに参加して

総務広報委員会 委員長／靱山 信治

9月2日（金）から9月4日（日）に、2022年度東北青年フォーラム in 栗原が開催され、秋田青年会議所から8名が参加致しました。

当日は、「これからの日本は東北が引っ張る！ ～カーボンニュートラル時代の地域資源活用法～」をテーマに、カーボンニュートラル時代は東北にとって大きなチャンスとなることを伝えるため、元宮崎県知事である東国原英夫氏、東北大学大学院の教授である中田俊彦氏が講師となり、ディスカッションが行われました。東北にはどのようなポテンシャルがあるのか、明日から何をすべきか等、今後のJC活動・運動の参考になる点が多々ありました。

また、今回は東北青年フォーラムの渉外担当という貴重な経験もさせて頂きましたことにも、感謝申し上げます。これらの経験を、今後のJC活動・運動に活かして参りたいと思います。

